

地域医療支援病院業務報告書

令和 7 年 10 月 5 日

(申請者)
横浜市長

申請者 住 所 東京都品川区旗の台1-5-8

氏 名 学校法人昭和医科大学
理事長 小口 勝司

〔 法人の場合は、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名 〕

電 話 03-3784-8000(代表)

標記の件について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和6年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒 142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8
氏 名	学校法人昭和医科大学 理事長 小口 勝司

(注)開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 病院名

フリガナ	ショウワイカダイガクフジガオカビョウイン
病院名	昭和医科大学藤が丘病院

3 所在地

〒 227-8501 横浜市 青葉区藤が丘1-30 電話： 045-971-1151(代表)
--

4 病床数(使用許可病床数)

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
0床	0床	0床	0床	584床	584床

5 施設の構造設備

施設名	施設概要
集中治療室 (ICU)	病床数 <u>14</u> 床 (主な設備) セントラルモニター1台、ベッドサイドモニター16台、AED付き除細動器2台、成人用人工呼吸器【救命、病棟と共有で25台】、血行動態監視モニター5台、ポータブル超音波画像装置2台、経皮的心肺補助装置(PCPS)3台【救命、初療・処置室と共有】、大動脈バルーンポンプ(IABP)3台【救命と共有】、血ガス分析装置1台【救命と共有】、持続緩徐式血液浄化装置3台【救命と共有】、12誘導心電計2台、非挿管用人工呼吸器【救命、病棟と共有で8台】、輸液ポンプ30台、シリンジポンプ36台、血液凝固計1台、搬送用人工呼吸器1台、深部静脈血栓予防装置4台【救命と共有】
化学検査室	(主な設備) 生化学自動分析装置2台、血算測定装置2台、血液凝固測定装置1台、血沈測定装置1台、安全キャビネット1台、免疫測定装置2台、POCT用遺伝子検査装置2台(2階)
細菌検査室	(主な設備) 安全キャビネット、オートクレーブ、バイオハザード対応冷却遠心機、顕微鏡、孵卵器(35℃)
病理検査室	(主な設備) 凍結組織切片作製装置、凍結ブロック作成装置、遠心機、臓器標本撮影装置、顕微鏡、局所排気装置
病理解剖室	(主な設備) 固定式剖検台、遺体保存用冷蔵庫、臓器標本撮影装置、吸引装置
研究室	(主な設備) 実験台11台、遠心機8台、フリーザー13台、顕微鏡3台、クリーンベンチ5台、超純水装置2台、CO2インキュベーター1台、等
講義室	収容定員 <u>340</u> 人 室 数 <u>7</u> 室
図書室	室 数 <u>1</u> 室 蔵 書 数 <u>6,385</u> 冊程度 雑 誌 <u>3,258</u> 誌
救急用又は患者搬送用自動車	保有台数 <u>3</u> 台 (内訳: DMATカー1台、救急車1台、患者搬送車1台) (主な設備) 車いす用リフト、ストレッチャー搬送用固定装置、酸素ボンベ
医薬品情報管理室	<input checked="" type="checkbox"/> 【専用室の場合】 床面積 <u>52.04</u> m ² <input type="checkbox"/> 【共用室の場合】 <u>共用ではありません</u> 室と共有

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	<input type="checkbox"/> 紹介率80%を上回っている	
	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率が65%を超え、かつ、逆紹介率が40%を超えること	
	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率が50%を超え、かつ、逆紹介率が70%を超えること	
紹介率 ※患者数は延べ人数	①／②－(③＋④＋⑤)	78.9%
	①紹介患者数	16,206人
	②初診患者数	24,585人
	③地域公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数(初診に限る)	3,245人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数(初診に限る)	808人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数(初診に限る)	0人
逆紹介率 ※患者数は延べ人数	⑦／②－(③＋④＋⑤)	81.1%
	⑦逆紹介患者数	16,654人

救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急関患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

職種	人数	職種	人数	職種	人数
医師	276人	歯科医師	8人	看護師	625人
薬剤師	42人	臨床検査技師	43人	臨床工学技士	20人
診療放射線技師	42人	保健師	0人	看護補助者	3人

(注)非常勤医師等、常勤換算で記載すること。

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	25床
専用病床	24床

(注)一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
手術室	1,207.08㎡	人工心肺装置1台、12誘導心電計1台、除細動器2台、内視鏡ユニット12台、電気メス20台、麻酔器10台、自己血回収装置3台、マイクロ顕微鏡2台、手術台12台、体温管理装置10台、无影灯10台、輸液加温器12台、レーザーメス2台、超音波メス7台、持続吸引器4台、超音波吸引装置3台、ベッドサイドモニタ11台、セントラルモニタ1台、パルスオキシメータ2台、血行動態モニタ2台、ヘッドライト8台、シリンジポンプ31台、開放式保育器1台、手術支援ロボット1台、ナビゲーションシステム1台、血液凝固計1台、メラサキューム9台、超音波エコー装置4台	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
内視鏡センター	356.53㎡	内視鏡ユニット6台、ベッドサイドモニタ8台、電気メス1台、除細動器1台	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
ICU	553.24㎡	セントラルモニタ1台、ベッドサイドモニタ16台、AED付き除細動器2台、成人用人工呼吸器【救命、病棟と共有で25台】、非挿管人工呼吸器【救命、病棟と共有で8台】、血行動態監視モニタ5台、超音波画像装置、経皮的心肺補助装置(PCPS)3台【救命、初療・処置室と共有】、大動脈バルーンポンプ(IABP)3台【救命と共有】、血ガス分析装置【救命と共有】、持続緩徐式血液浄化装置3台【救命と共有】、12誘導心電計2台、輸液ポンプ30台、シリンジポンプ36台、血液凝固計1台、搬送用人工呼吸器1台、深部静脈血栓予防装置4台【救命と共有】	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
救命病棟	295.97㎡	セントラルモニタ2台、ベッドサイドモニタ12台、12誘導心電計1台、AED付き除細動器1台、成人用人工呼吸器【救命、病棟と共有で25台】、非挿管人工呼吸器【救命、病棟と共有で8台】、血行動態監視モニタ6台、ポータブル超音波画像装置、経皮的心肺補助装置(PCPS)3台【ICU、初療・処置室と共有】、大動脈バルーンポンプ(IABP)3台【ICUと共有】、血ガス分析装置【ICUと共有】、持続緩徐式血液浄化装置3台【ICUと共有】、輸液ポンプ12台、シリンジポンプ27台、低体温装置3台、搬送用人工呼吸器1台、深部静脈血栓予防装置4台【ICUと共有】	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>

初療・処置室	212.25㎡	ベッドサイドモニタ6台、AED付き除細動器2台、人工呼吸器2台、経皮的心肺補助装置(PCPS)3台【ICU、救命と共有】、超音波画像診断装置、電気メス1台、内視鏡ユニット1台、自動心臓マッサージ装置1台、血ガス測定装置1台、移動式无影灯1台、12誘導心電計、輸液ポンプ4台、シリンジポンプ4台、体温管理装置1台、急速輸液装置1台、送信機3台、パルスオキシメータ1台	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
EIU	529.22㎡	セントラルモニタ1台、ベッドサイドモニタ11台、12誘導心電計1台、AED付き除細動器1台、送信機24台、深部静脈血栓予防装置2台	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
ER	91.29㎡	セントラルモニタ1台、ベッドサイドモニタ6台、搬送用人工呼吸器1台、12誘導心電計、送信機8台	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
透析センター	136.32㎡	個人用多用途透析装置12台(全台血圧計付き)、血液浄化装置・血漿交換用装置1台、浸透圧計1台、逆浸透水处理装置1台、体重計1台、シリンジポンプ10台、セントラルモニタ1台、送信器8台、輸液ポンプ2台、除細動器1台、12誘導心電計1台	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
高気圧酸素治療室	15.35㎡	高気圧酸素治療装置1台、ベッドサイドモニタ1台、人工呼吸器1台	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
生化学・血液検査室	145.88㎡	生化学自動分析装置2台、血算測定装置2台、血液凝固測定装置1台、血沈測定装置1台、安全キャビネット1台、免疫測定装置2台、POCT用遺伝子検査装置2台(2階)	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/> (血沈測定装置のみ否)
超音波検査室	147.72㎡	超音波診断装置8台(1階)	可 <input type="checkbox"/> 否 <input checked="" type="checkbox"/>
血管撮影室	216.02㎡	血管撮影装置3台、人工呼吸器、モニタ、除細動器、IABP、PCPS、OFDI、IVUS、ポリグラフ、体外式ペースメーカー、輸液ポンプ、シリンジポンプ、ローターブレード、血管内視鏡装置、造影剤自動注入器、超音波装置	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
MR検査室	155.05㎡	MRI装置 2台、SpO2 1台、造影剤自動注入器	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
CT室(3階)	49.28㎡	CT装置 1台、モニター1台、造影剤自動注入器	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>

4 備考

- ・救急病院指定医療機関(更新日:令和6年11月14日)
- ・横浜市二次救急拠点病院A体制指定医療機関(更新日:令和7年4月1日)

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。すでに、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績【(1)又は(2)のどちらかを選択し記入すること】

(1) 救急患者数

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	5,646人
	(5,042人)
上記以外の救急患者の数	2,303人
	(1,833人)
合計	7,949人
	(6,875人)

※括弧内は、初診救急患者数

(2) 救急医療圏(2次医療圏)人口における救急搬送者数割合

A: 救急用又は患者輸送用自動車により搬送した救急患者の数	
B: 救急医療圏(2次医療圏)人口 [※]	3,767,635人
C: $A/B \times 1,000 > 2$	

※2024年4月1日時点の人口

地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

共同利用を行った医療機関の延べ数	1施設
そのうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	1施設
医療機器共同利用件数	1件
共同利用病床数	3床
共同利用に係る病床の病床利用率	74%

2 共同利用の施設・設備等

医療機器							
コンピューター断層撮影装置(CT)	<input checked="" type="checkbox"/>	磁気共鳴コンピューター断層撮影装置(MRI)	<input checked="" type="checkbox"/>				
陽電子診断装置(PET-CT)	<input type="checkbox"/>	直接撮影用エックス線装置	<input type="checkbox"/>				
核医学診断装置(RI)	<input checked="" type="checkbox"/>	乳房撮影用エックス線装置	<input type="checkbox"/>				
診療用高エネルギー放射線発生装置	<input type="checkbox"/>	骨密度測定装置	<input type="checkbox"/>				
ホルター心電図装置	<input type="checkbox"/>	消化管内視鏡検査装置	<input type="checkbox"/>				
頸動脈超音波装置	<input type="checkbox"/>	心臓超音波装置	<input type="checkbox"/>				
下肢静脈超音波装置	<input type="checkbox"/>	その他()	<input type="checkbox"/>				
手術室	<input type="checkbox"/>	病床	<input checked="" type="checkbox"/>	図書室	<input checked="" type="checkbox"/>	会議室・講義堂	<input type="checkbox"/>

(注)当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器機又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものも明記すること。

3 共同利用の体制

共同利用に関する規定の有無

有

無

(注)共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

地域医療支援病院開設者との経営上の関係	有	0施設
	無	365施設

(注)当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

(注)承認要件—開設者と直接関係のない医療機関が現に共同利用を行っている全医療機関の5割以上であること。

(注)登録医療機関の名簿を添付してください。

地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修内容(研修会等名称、研修内容、開催日、参加医療機関数)

地域の医療機関を対象とした研修プログラムを組み、実施している
(別紙「研修会・勉強会実績報告」資料参照)。

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	18回
(2) (1)の研修参加者数	556人

(注1) 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注2) (2)には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
(2) 研修委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
B棟6階講堂	258.75㎡	(主な設備) 机、椅子、プロジェクター、スクリーン、音響設備、ホワイトボード(据付、可動型)、演台【定員:90名】
B棟6階A会議室	43.00㎡	(主な設備) 机、椅子、ホワイトボード(可動型)【定員:18名】
B棟6階B会議室	55.32㎡	(主な設備) 机、椅子、プロジェクター、モニター(据付)、スクリーン、電子カルテ、ホワイトボード(可動型) 【定員:24名】
B棟6階C会議室	66.04㎡	(主な設備) 机、椅子、モニター(据付)、ホワイトボード(可動型)【定員:20名】
B棟6階D会議室	12.30㎡	(主な設備) 机、椅子、ホワイトボード(可動型)【定員:8名】
C棟臨床講堂	167.04㎡	(主な設備) 机、椅子、プロジェクター、スクリーン、音響設備、演台【定員:150名】
C棟会議室	58.48㎡	(主な設備) 机、椅子、プロジェクター、スクリーン、電子カルテ、ホワイトボード(可動型)【定員:30名】

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者(役職名)		病院長
管理担当者(役職名)		事務長
保管場所		
診療に関する諸記録 (病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約)		(病院日誌) 管理課 (診療録関係) 電子カルテ
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	医事外来課
	救急医療の提供実績	医事外来課
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修実績	医事外来課
	閲覧実績	医事外来課
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績数を明らかにする帳簿	医事外来課

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者(役職名)	病院長		
閲覧担当者(役職名)	医事外来課長		
閲覧の求めに応じる場所	診療情報管理室		
前年度の総閲覧件数			13件
閲覧者別	当該病院に患者を紹介しようとする	医師	0件
		歯科医師	0件
	地方公共団体		0件
	その他		13件

委員会の開催の実績

委員会の回数	4回
委員会における議論の概要	
別紙参照	

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口 <input checked="" type="checkbox"/> 患者サポート室 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>
	「その他」記入欄
主として患者相談を行った者(対応者) (複数回答可)	患者サポートセンター(事務員) 医療福祉相談室(MSW) 入退院調整支援室(看護師)
患者相談件数	32,381件
患者相談の概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全に関すること ・ 入退院支援に関する相談・調整 ・ 経済的問題に関する相談 ・ 社会保険・福祉制度に関する相談・調整 ・ 薬に関する相談 ・ 食事に関する相談 ・ 在宅医療支援(在宅療養、訪問看護関係の書類の手続き) ・ 患者相談(意見、要望に関する相談など) 	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類して記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が特定されないよう配慮すること。

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類(任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
評価を行った機関名、評価を受けた時期	公益財団法人日本医療機能評価機構(令和4年8月19日)		

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
情報発信の方法、内容等の概要	<ul style="list-style-type: none">・地域中核病院として医療技術等を地域医療機関へ発信する場を設けている。・意見交換(地域医療支援病院運営協議会)を年4回開催している。・毎月「病院だより」を発行しており、また年2回地域連携ニュースを発刊し、各診療科の取組み等の情報発信している。		

3 退院調整部門

退院調整部門の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
退院調整部門の概要	看護師およびMSWにて構成されており、「入退院支援計画書の策定、実施」「適切な退院調整や退院促進」「退院後の受入医療機関や在宅医療・介護サービス担当者との調整」「院内外の関係者との連携推進」などの業務に従事している。		

4 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
策定した地域連携クリティカルパスの種類、内容	胃がん、前立腺がん、膀胱がん		
地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	二人主治医制を附属病院全体のプロジェクトとして取り組んでいる。		

【別紙】

昭和医科大学藤が丘病院 共同利用規程

【目的】

第1条 この制度は昭和医科大学藤が丘病院の施設・医療設備を地域の医療従事者の、診療・研究又は研修を目的とした利用（以下「共同利用」）に共し、地域医療機関との連携の強化と、医療従事者相互の研鑽を図り、円滑適正な医療サービスを提供するため必要な事項を定める。

【利用対象者】

第2条 昭和医科大学藤が丘病院の施設等を共同利用できる対象者は、「昭和医科大学藤が丘病院地域連携医療協力機関制度内規」に定める登録医療機関の医師とする。

【施設・設備等】

第3条 当院における共同利用の範囲は次の通りとする。

- (1) 共同利用のための専用病床（以下「共同病床」）
- (2) 高度医療機器等（CT、MRI、RI、その他院長が必要と認めた機器）
- (3) 図書室
- (4) その他（諸記録の閲覧、検査及び治療の立ち会い、研修会及び症例検討会等への参加）

【対象施設の利用】

第4条 共同病床の入院患者の診療及び指導は、登録医と病院の主治医が共同して行うものとする。主治医が不在の場合は、当該診療科科長が代行する。

【共同利用時間】

第5条 共同利用時間については、病院の休日を除く月曜日から金曜日までの午前9時から午後5時までとする。

【利用手続き】

第6条 当院内の設備・施設を利用する際は、予め所定の様式に必要事項を記入し、当院の許可を得るものとする。

【利用者の義務】

第7条 第3条に定める施設、設備等を共同利用する場合は、昭和医科大学藤が丘病院の諸規程を遵守する。

- 2 当院で知り得た患者の個人情報や診療内容について守秘義務を遵守する。
- 3 当院内の設備・施設を利用する際は、当院が準備する名札（登録施設名）を着用する。

【所管】

第8条 共同利用に関しては、昭和医科大学藤が丘病院「地域医療連携室」に担当者をおく。

2 共同利用に関する責任者は同室長とする。

【その他】

第9条 共同利用に必要な事項は、昭和医科大学藤が丘病院「昭和医科大学藤が丘病院地域連携 世話人会」にて協議の上、当院の院長が決定する。

(付則)

この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

この改正規程は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。

令和6年度 昭和大学藤が丘病院地域連携研修会・勉強会実績報告

別紙

No.	研究会・勉強会名称	演題	開催方法	科名等	開催日	参加人数	院内参加人数	院外参加人数	共催
1	第38回神奈川県・昭和大学藤が丘合同オープンカンファレンス	<ul style="list-style-type: none"> ・当院の現在の体制と地域連携について ・2年間の滋賀県修行 渡滋賀記 ・チン小帯脆弱・断裂白内障症例において、CTR使用、未使用による術後眼内レンズ偏心・傾斜の比較 ・日本未発売の亜脱臼した眼内レンズを摘出し強膜内固定術を施行した1例 ・2種類のIOL、多様な切開創を用いた強膜内固定ダイレクトニードル法 ・全層角膜移植術後に治療的表層角膜切除術を追加実施された眼に対する水晶体再建術の1例 ・昭和大学病院附属東病院における外傷性黄斑円孔の治療成績 ・危機からの脱出に成功した2例 ・白内障手術：上達の近道、そして難症例・合併症対策 	対面	眼科	R6.4.13	65	19	46	神奈川県眼科医会 横浜市眼科医会
2	Nephrology Forum Tamagawa in 2024	<ul style="list-style-type: none"> ・脳幹型の可逆性白質脳症(PRES)を呈した腹膜透析患者の一例 ・「食塩」に着目した血圧管理 ～ARNIとサイアザイド系利尿薬の違いを踏まえて～ ・糖尿病性腎症の精密医療 	対面	腎臓内科	R6.5.11	44	13	31	大塚製薬株式会社
3	第28回藤が丘Cardiology連携フォーラム	<ul style="list-style-type: none"> ・経皮的カテーテルアブレーション直後にショックを伴う冠攣縮を呈した一例 ・不整脈に起因する心不全 	ハイブリッド	循環器内科	R6.5.17	不明	不明	不明	青葉区医師会循環器研究会 緑区医師会、町田市医師会 大塚製薬株式会社
4	第32回糖尿病内分泌研究会	<ul style="list-style-type: none"> ・家族性高コレステロール血症(症例報告) ・経口GLP-1受容体作動薬(特別講演) 	対面	糖尿病・代謝・内分泌内科	R6.6.18	22	9	13	ノボノルディスクファーマ(株)
5	第63回 青葉区泌尿器科の会	<ul style="list-style-type: none"> ・当院の排尿ケアチームについて ・亜鉛製剤で射精機能が改善した一例 ・生活習慣病と性機能 ・長期使用尿管用チューブ留置中に後腹膜腫瘍が形成された一例 	対面	対面	R6.6.12	18	8	10	横浜総合病院 大塚製薬
6	第9回神奈川乳房再建研究会	<ul style="list-style-type: none"> ・乳房再建における手術手技、形成外科との連携について ・乳房再建ワークフローにおける患者意思決定と心のケアの重要性 ・乳房再建における手術手技とICの工夫について 	WEB	形成外科 乳腺外科	R6.7.27	32	4	28	神奈川乳房再建研究会世話人会 アツヴィ合同会社 アラガン・エステティクス
7	第30回 Fujigaoka Urology Forum	<ul style="list-style-type: none"> ・メンズヘルスと排尿障害 	対面	泌尿器科	R6.8.28	34	8	26	キッセイ薬品工業
8	藤が丘Cardiology連携フォーラム2024特別会	<ul style="list-style-type: none"> ・横紋筋融解症を併発した深部静脈血栓症の一例 ・当科における心臓血管外科手術 	ハイブリッド	循環器内科	R6.9.20	不明	不明	不明	青葉区医師会循環器研究会 緑区医師会 町田市医師会 トーアエイヨー株式会社
9	第64回青葉区泌尿器科の会	<ul style="list-style-type: none"> ・排尿障害と～QOL向上を目指して～ 	対面	泌尿器科	R6.10.9	29	11	18	キッセイ薬品工業
10	第19回藤が丘皮膚科懇話会	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介された患者報告 ・病診連携全体の報告 	対面	皮膚科	R6.10.16	22	4	18	田辺三菱製薬

No.	研究会・勉強会名称	演題	開催方法	科名等	開催日	参加人数	院内参加人数	院外参加人数	共催
11	青葉区こども病診連携の会	・藤が丘病院小児科の現状 ・今後の勉強会の進め方、予定	対面	小児科	R6.10.31	23	7	16	青葉区小児科医会
12	2024年度 神奈川県形成外科症例検討会	・骨盤内から左大腿に及ぶ巨大腫瘍の一例 ・胸骨全切除後に発症した肺ヘルニアの一例 ・外耳の形態異常が著名な第一・第二鰓弓症候群の1例:次の一手は? ・小児の反復性静脈血栓症の一例 ・Jones 変法術後の再発症例に対する修正術の経験 ・外陰部巨大尖圭コンジローマの一例 ・低位耳甲介残存型小耳症に対する耳介再建術 ・匠の形成外科医、鳥飼勝行先生の思い出 ・私の Tr-ism と reverse Tr-ization の応用 ・北里大学口唇口蓋裂診療班から感謝を込めて ・飼勝行先生の思い出 一口腔外科との接点 ・私が経験した鳥飼勝行先生の手術症例 一先生を偲んで	対面	形成外科	R6.11.9	65	5	60	
13	第33回糖尿病内分泌研究会	・インスリン療法後の糖尿病(症例報告) ・高齢者糖尿病(特別講演)	対面	糖尿病・代謝・内分泌内科	R6.11.19	26	8	18	ノボノルディスクファーマ(株)
14	第7回藤が丘アイフォーラム	・当院の現在の体制と地域連携について ・Ang-2/VEGF-A同時阻害による 糖尿病黄斑浮腫の新規治療戦略 ・プレミアム眼内レンズ移植の近い未来	対面	眼科	R6.11.30	45	22	23	神奈川県眼科医会 横浜市眼科医会 中外製薬株式会社
15	第29回藤が丘Cardiology連携フォーラム	・健康診断の心電図が診断への契機となった肺高血圧症の検討 ・静脈血栓閉塞症～DOAC時代におけるUnmet needsとカテーテル治療への期待～	ハイブリッド	循環器内科	R7.2.21	不明	不明	不明	青葉区医師会循環器研究会 緑区医師会 町田市医師会 第一三共株式会社
16	第30回 Fujigaoka Urology Forum	べらぼう～泌尿器科手術繁栄乃夢囁～	対面	泌尿器科	R7.2.26	44	12	32	杏林製薬株式会社
17	第65回青葉区泌尿器科の会	生活習慣病とメンズヘルス～高尿酸血症を含む～	対面	泌尿器科	R7.2.29	38	28	10	青葉区泌尿器科の会 持田製薬株式会社
18	第26回眼創傷治癒研究会並びに日本眼科生体材料および再生医療研究会	・豚眼を用いた極小切開創における眼内レンズ挿入後の創口拡大と組織像の評価 ・疎水性アクリルIOL(SA60AT)の75℃長期加速劣化試験 ・アトピー性皮膚炎合併眼内レンズ脱臼症例における摘出水晶体嚢の免疫染色 ・コンタクトレンズ付着菌に対する光線力学的抗微生物化学療法 ・白内障手術後のドライアイと網膜厚 ・角膜知覚におけるテネイシンX の役割 ・細胞及び個体における角膜上皮の薬効日内変動の解析 ・「patient based medicine」～濁るIOL、濁っているIOL～ ～復活してほしい人工角膜Kpro～ ～細菌性角膜炎に対するクロスリンキング～ ・重症神経麻痺性角膜症マウスモデルにおける角膜表面の角化および上皮細胞の表現型の消失 ・貴金属ナノ粒子が角膜線維芽細胞に与える影響の検討 ・TGF-βによる角膜線維芽細胞のコラーゲン合成にサブスタンスPが与える影響 ・角膜実質特異的 HAS2コンディショナルノックアウトマウスの角膜創傷治癒 ・角膜上皮創傷治癒過程においてウロキナーゼ型プラスミノゲン活性化因子(uPA)が角膜神経の再生に与える影響 ・ネフロネクチン遺伝子変異マウスにおける角膜上皮治癒の検討 ・TRPA1遺伝子欠損マウスにおける角膜実質の創傷治癒 ・眼内レンズ固定位置の違いにおける組織学的検討 ・術後9年目に発症した眼内レンズ毛様溝縫着術後眼内炎 ・眼窩骨折に対する多孔性プレートの摘出を必要とした1例 ・親水性アクリル製IOLメチル化処理によるカルシウム沈着抑制効果の検証 ・全身合併症を考慮した抗VEGF療法における薬剤選択 ・新生血管を伴う加齢黄斑変性の治療:私の戦略から最新の知見まで	対面	眼科	R7.3.8-9	49	18	31	
合計						556	176	380	

令和6年度地域医療支援病院運営協議会の開催状況

第1回 日時：令和6年5月17日 開催形式：新横浜グレイスホテル

○議論概要

- ・各種統計データ報告（令和5年4月～令和6年3月）
外来患者数、初再診患者数、紹介逆紹介率、紹介逆紹介患者地域分布、緊急紹介患者受入数・受入率、入院患者数、病床稼働率、手術件数、分娩件数、救急診療・救急搬送受入件数、高度医療機器共同利用状況(RI)、外来PCR陽性患者数・陽性率、陽性者分類
- ・地域連携に関する取り組みについての報告
地域連携フォーラム、診療科ガイドの発行および今年度の準緊急紹介患者受入強化に向けた取り組みについて
- ・救急医療に関する取り組みについての報告
救急医療センター応需率、心臓ホットラインおよび脳卒中ホットラインに関する取り組みについて

第2回 日時：令和6年9月9日 開催形式：藤が丘病院

○議論概要

- ・各種統計データ報告（令和6年4月～令和6年8月）
外来患者数、初再診患者数、紹介逆紹介率、紹介逆紹介患者地域分布、緊急紹介患者受入数・受入率、入院患者数、病床稼働率、手術件数、分娩件数、救急診療・救急搬送受入件数、高度医療機器共同利用状況(RI)、外来PCR陽性患者数・陽性率、陽性者分類
- ・地域連携に関する取り組みについての報告
地域連携フォーラム、地域連携ニュースおよび地域連携医療協力機関制度について
- ・救急医療に関する取り組みについての報告
救急医療センター応需率、心臓ホットラインおよび脳卒中ホットラインに関する取り組みについて

第3回 日時：令和6年11月 開催形式：書面（メール）開催

○議論概要

- ・各種統計データ報告（令和6年4月～令和6年10月）
外来患者数、初再診患者数、紹介逆紹介率、紹介逆紹介患者地域分布、緊急紹介患者受入数・受入率、入院患者数、病床稼働率、手術件数、分娩件数、救急診療・救急搬送受入件数、高度医療機器共同利用状況(RI)、外来PCR陽性患者数・陽性率、陽性者分類
- ・地域連携に関する取り組みについての報告
地域連携フォーラム、準緊急紹介患者受入強化や地域連携医療協力機関制度の紹介強化について
- ・救急医療に関する取り組みについての報告
救急医療センター応需率、心臓ホットラインおよび脳卒中ホットラインに関する取り組みについて

第4回 日時：令和7年2月10日 開催形式：藤が丘病院

○議論概要

- ・各種統計データ報告（令和6年4月～令和7年1月）
外来患者数、初再診患者数、紹介逆紹介率、紹介逆紹介患者地域分布、緊急紹介患者受入数・受入率、入院患者数、病床稼働率、手術件数、分娩件数、救急診療・救急搬送受入件数、高度医療機器共同利用状況(RI)、外来PCR陽性患者数・陽性率、陽性者分類
- ・地域連携に関する取り組みについての報告
地域連携フォーラム、地域連携ニュースおよび二人主治医制について
- ・救急医療に関する取り組みについての報告
救急医療センター応需率、心臓ホットラインおよび脳卒中ホットラインに関する取り組みについて